



2014-15年度R Iのテーマ「ロータリーに輝きを」
R I会長 ゲイリー・C. K. ホアン (Light Up Rotary)

八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 工藤 武重 ●会長 榎 清蔵 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/>

Email : hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org/2014/>

第 1930 回例会記録《社会奉仕委員会担当例会》

2015 年 5 月 21 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート No. 1363

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか

第 1930 回例会要旨

- ・ 会長要件
- ・ 幹事報告
- ・ 各委員会報告
 《出席・親睦》
- ・ 社会奉仕委員会



熊谷 S A A



《出席報告》桜田委員長

正会員数 45 名。本日の出席は免除会員 6 名を含む 31 名。出席率 78% です。前々会の例会は、新会員歓迎及び創立記念慰労例会でした。

《ゲスト》

八戸高校インターアクト

田中裕さん、中野朗吾さん
鳩力乃介さん、府金佑佳さん
中野佐茶さん、田名部なな子さん
小倉いずみさん
顧問教諭 山口明子先生

《会長要件》榎会長



今日はインターアクトの生徒さんたちがお見えです。毎年一緒に蕪島海岸の清掃活動をしています。後ほどその時の活動報告をしていただきます。ひじょうに天気にも恵まれました。新聞にも部長さんのインタビューが載っていましたが、地域の皆さんに八高インターアクトの生徒さんたちの奉仕活動が PR されたと思います。4 月 19 日の記念講演にも生徒の皆さんが参加してくれました。講演者のメラニーさんのその後の事です。新聞記事に載っていた通りメラニーさんが外国人初の八戸大使に委嘱されました。83 人目の大使で外国人としては初めてだそうです。これから八戸について色々と PR してもらおう事になると思います。40 周年の祝賀会の席での小林市長さんとのお話からとんとん拍子に話が進み、最終的に八戸市の東京事務所で委嘱状を伝達したと新聞に載っていました。メラニーさんは当初より大きな夢をもって交換学生として来日し、その夢に向かって頑張ってきたわけ。いろいろなことがあったと思いますが、八戸への恩返しとして八戸をもっと PR したいとの思いが叶ったと言う事でした。今後八戸へ来る機会が増えると思いますのでその時には南ロータリーへも寄っていただきたい。新聞に掲載された記事や表敬訪問の写真と一緒にお礼状を送りました。一

部をご紹介します「デーリー東北の 5 月 14 日の記事に『外国人初のブロックさん八戸大使に』と言う見出しで掲載されていました。本当におめでとうございます。今後八戸大使として来八されることが多くなると思いますが、その際はどうか八戸南ロータリークラブの例会にもよっていただきたい。年内にもお出でになる機会があるかと思いますが、楽しく活発なメラニーさんにまたお会いしたいと思います。

これからインターアクトの皆さんには色々な奉仕活動の機会があると思います。奉仕活動の経験とかメラニーさんの活躍を見る事が、これからの皆さんの歩む道に幾らかでもプラスになればと思います。

《本人誕生日》



鈴木会員



西村会員

《奥様誕生日》



久保田会員



橋本会員

《幹事報告》伊藤幹事

・例会変更のお知らせです。

八戸 RC 6 月 24 日 (水) 時間変更、八戸東 RC 6 月 26 日 (金) 時間変更、八戸北 RC 6 月 2 日 (火) 任意休会、6 月 30 日 (火) 時間変更、八戸中央 RC



6月20日(月) 時間場所変更。

・地区よりネパールの地震に対する義援金、会員一人1,000円の願いが来ております。皆様の善意のご協力をお願いします。

・八戸学院光星高校様より選抜甲子園寄付のお礼状と記念品が届いています。

・来週は早朝例会で長者山6時30分です。

・ハイライト米山が届いています。

《ニコニコボックス》平光委員長

榎会長：八高インターアクトの皆さん、今日はよろしく申し上げます。

伊藤幹事：八高IACの皆さんようこそ、今日はよろしく申し上げます。

黒田会員：八戸高校IACの皆さん今年もよろしく。

小原会員：先日の地区研修・協議会参加の皆様お疲れ様でした。

橋本会員：平光さん、久保田さん写真ありがとうございました。

清川会員：八戸高校IACのみなさんよろしく申し上げます。

平光会員：八高IACのみなさまよろしく申し上げます。

本人誕生日：鈴木会員、西村会員

奥様誕生日：久保田会員

結婚記念日：橋本会員



《社会奉仕委員会》長嶺委員長



今日は八高インターアクトの皆さんから5月2日の蕪島清掃の報告や日頃の活動報告をして頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。

《3年 嶋 力乃介 さん》

我々高校生が蕪島神社で願いを叶えていただく為には三年間毎年蕪島清掃活動に参加し、三度お参りをしなければならぬそうです。私は昨年突然のけがで清掃を欠席してしまいました。そして今年、もう私の願いは叶えてもらえないと知りつつ蕪島に着いた私を迎えてくれたのは階段を埋めつくすほどのウミネコでした。後で知ったのですが今年のウミネコは例年よりかなり多かったそうです。そんなウミネコたちに気を付けて行った清掃活動は一昨年のように滞りなく進みました。裸足の人たちにとって危険なプラスチックや海辺の生物たちが誤飲してしまいそうなビニールなど、全体としてゴミは少なかったのですが中にはこのように危険なものが沢山ありました。近年は河川の整備が進み流出する土砂が減ったことにより、砂浜の消滅を危険視する声もありますが、この蕪島の砂浜はいつまでも残ってほしいと思っております。

一時間ほどで清掃が終わり神社の建物に招いてい



ただき昼食をいただきました。昼食をいただきながら、最近ウミネコたちの調査の為に名古屋の大学の研究者の方々が来ていることを聞きました。神社の方もおっしゃっていましたが、このような地元の研究を行う事で地域の盛り上げにも一役買うと言う事にもなると思います。私は文系の為ウミネコの研究は出来ませんが、地元の力を高めていくために私にも出来ることはあると思います。

大学へ進学し、そのようなやりがいのあることを見つけていきたいと思っております。

《1年 小倉 いずみ さん》

私にとって蕪島海岸清掃活動は初めてのボランティア活動でした。自ら活動することは全く苦にならず楽しむことができました。

海岸では、多くのプラスチックの破片や花火の残骸、ビニール袋などを拾いました。岩陰には、大きな発泡スチロールのかたまりや、スポンジのような物がいくつもありました。これらのごみは、自然から生まれるものではなく人間が捨てたものです。

海を利用する人が、みんなきちんとごみを片づけ、持ち帰っていただければ、このようなごみは生まれません。

私は今回の活動を通して、少しでも早く、全ての人が、自分で出したごみを持ち帰ることが当たり前になる世の中になってほしいと感じました。そのためにも、今回のような活動を、もっと多くの人に知ってもらいたいと思っております。



《1年 田名部 なな子 さん》



蕪島海岸清掃活動はインターアクト愛好会での初めての活動でした。八戸の観光名所である蕪島海岸をきれいにし、蕪島を訪れる人々に少しでも気持ちよくなって帰ってほしいという思いで参加しました。海岸には思っていたほどのゴミ

がありませんでした。そこで大きな岩のある方でゴミを拾いました。そこには海岸とは違ってたくさんのゴミが落ちていました。燃えるゴミだけだと思っていましたが、カンやビンやプラスチックなどの燃えないゴミがたくさん落ちていて、それらが岩と岩の間にはさまってとるのがたいへんでした。最後に集まったゴミを見るとたくさんあっておどろきました。蕪島海岸のゴミ拾いをしてみて、ゴミ拾いをするのがこんなにいい気持ちになれることを初めて知りました。来年もぜひ、参加したいです。

《2年 中野 佐茶 さん》

八戸南ロータリークラブのみなさま、今回は蕪島清掃に参加させていただきありがとうございました。

私は今年インターアクトクラブに入ったので、初めて蕪島清掃に参加しました。久しぶりに蕪島に来て目に飛び込んできたのは、やはり無数のウミネコです。神社の階段には白い点があちこちあり、あれが全てウ



ミネコなのかと思うと、少しぞっとしました。

清掃では木の枝やプラスチック製のゴミを拾いました。ごみは少なかったけれど、やはり空き缶などがいくつか落ちていたので今回の清掃で拾うことができてよかったです。蕪島には大量のウミネコがいて、フンをかけられたり、食べ物を持っていかれたり色々な被害があるけれど、みんな笑顔でした。全国からこの蕪島神社に観光客が集まるのには、天然記念物のウミネコに餌を与えられるふれあいがあり、猫のような可愛らしい鳴き声で人懐こく食べ物を欲しがるウミネコに心をひかれて人はまた蕪島に行きたいと感じるのだらうと思いました。

「蕪島にはたくさんのウミネコがいる」という八戸にしかない常識があるのはとても誇らしく思います。ウミネコがまた集まるように来年も蕪島へ清掃に行きたいです。

《2年 府金 佑佳 さん》



私は昨年に引き続き今年も蕪島清掃活動に参加させていただきました。昨年よりもみねこの数が多く、蕪島ならではの魅力を存分に堪能しながら清掃することができました。ごみの量としては昨年のほうが多かったように感じられました。昨年同様、可燃ごみと不燃ごみに分けてごみを拾い集めました。ごみを拾っているときは気持ちがとても晴れやかになりました。視覚的にも成果を実感することができ、この上ない達成感を得られました。日常生活でもよく道路に落ちているごみを見かけます。大多数の人は歯牙にもかけないのではないのでしょうか。同じ人間として慙愧の念に堪えません。私はこのようなボランティア活動を通して清掃活動の楽しさ、素晴らしさを実感することができました。より多くの人に同じ達成感を得てもらいたいと思います。貴重な経験をありがとうございました。

《3年 中野 朗吾 さん》

五月二日に、蕪島清掃に参加しました。天気にも恵まれ、海岸を黄色く彩る花を揺らす風に春の陽気が感じられ、絶好の清掃日和でした。私は燃えないゴミを担当しました。昨年ほど割れた瓶の破片は落ちていませんでしたが、お客さんが裸足になる砂浜のため全く落ちていないのが望ましいと思います。今回その危険の原因を減らすことができ、とてもスッキリしました。ゴミの集計時のゴミ袋の量は相変わらず多かったけれど、中身はビニールや缶瓶から流木に変わり、昨年の努力も見えたのではないのでしょうか。



清掃終了後の昼食は蕪島神社の中で頂きました。神社の方からウミネコについてとても興味深いお話を伺うことができました。とても貴重な経験になりました。

この清掃活動はゴールデンウィーク中にあるという事で、八高生にとってもとても優しい活動だと思います。後輩たちには是非勧めたい活動だと思います。

《3年 田中 裕 さん》



部長の田中です。今年は私のそれはそれは素晴らしい新入生の為の部活紹介のスピーチもあってか一年生がたくさん入り、インターアクトクラブも大きな活動が出来るようになったので今年の活動も頑張っていきたいと思えます。

今回の蕪島清掃は私にとって三回目でした。昨年の蕪島清掃を思い出してみると大量の細い木の漂着物が多かったと思います。しかし今年は昨年と比べて蕪島の浜に流れ着いたものや、人が故意に捨てたと思われるごみは少なかったです。ごみを捨てる事が少なくなったのか、それともごみを拾うことが多くなったのかは分かりませんがこれはいい傾向だと思いました。

これからの行楽シーズンには、蕪島にも多くの人を訪れることでしょう。その観光客が浜を見て、ごみもしたくさん落ちていけば残念に思うだろうし、ごみが無くきれいな浜を見ることが出来れば八戸の観光そのものの質も向上すると思いました。

この清掃活動がずっと続いていけばいいと思いました。

《社会奉仕委員長》

部長さんにお聞きしますがインターアクトの活動で蕪島清掃以外にやっていることがありましたら教えてください。

《田中部長》



夏休みの前に八高祭があり、その時に「フェアトレード商品」と言って発展途上国で作られている商品を販売しています。フェアトレードと言うのは発展途上国で作られるものを正しい価格で購入する事により生産者の皆さんの生活を支援する取り組みです。そのほかには種々の募金活動で昨年は広島土砂災害についての募金活動をしました。あとは赤い羽根や緑の羽根などです。

《社会奉仕委員長》

八高インターアクトの皆さん今日はどうもありがとうございました。

